

No.10

年齢：1才9ヶ月(男)

症 状

3日前受診、抗生剤と熱さましをもらった。翌日熱性けいれんを起こし、夜になって救急車で救急病院へ。タイアップと点滴を受ける。本日熱が40℃あり、アンヒガ50(熱さまし)を挿入。ご飯は食べられる。

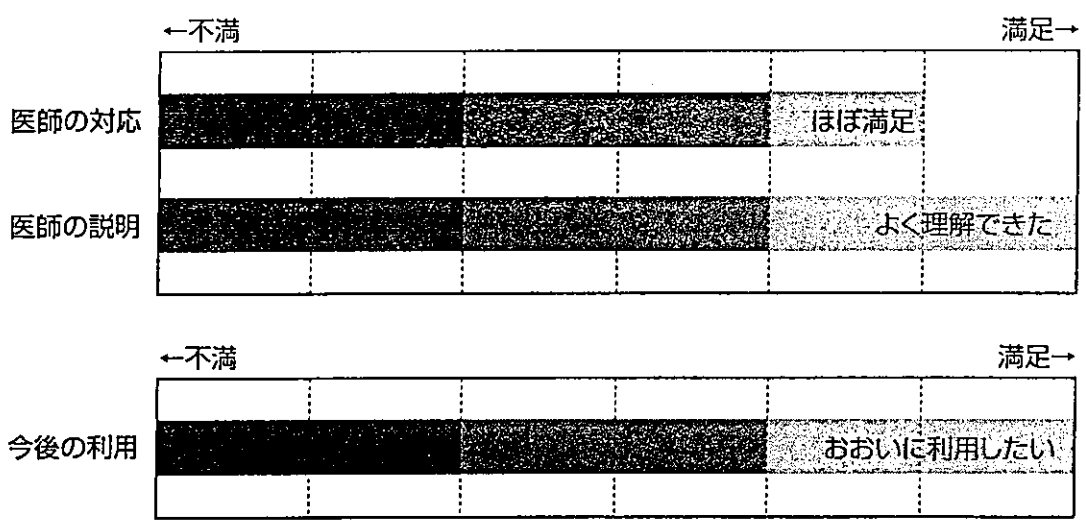
相談小児科医の助言

心配ないが、何かあれば病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

熱性けいれん再発予防のため、タイアップの使用方法について再確認をして下さい。

No.11 年齢：3才3ヶ月（男）

症 状

発熱40℃。病院ではインフルエンザではないと言われた。しかし、インフルエンザの薬を1日分もらった。風邪薬は3日分。水分はとっている。悲鳴をあげている。

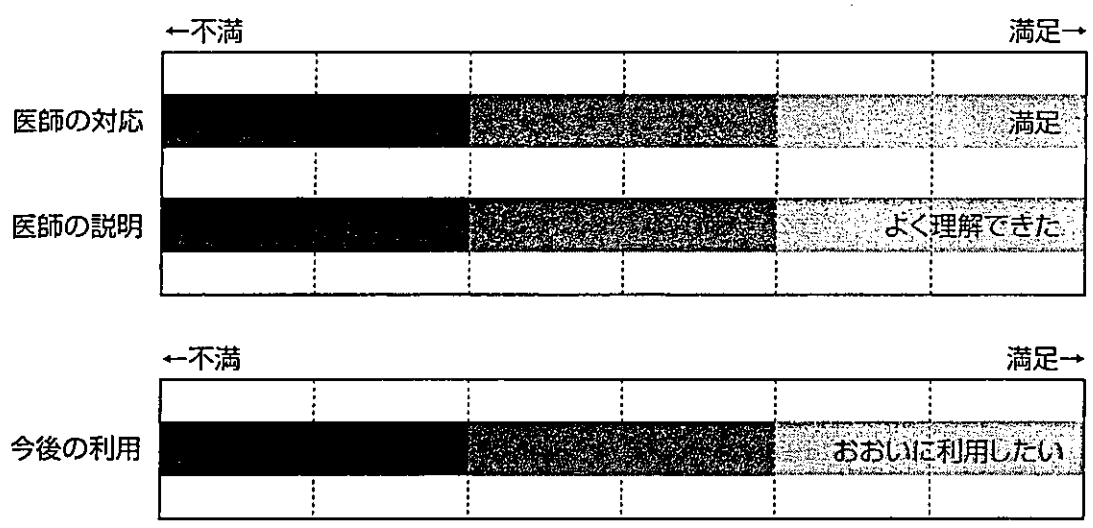
相談小児科医の助言

心配ないので、昼間かかりつけ医に行くように言った。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

インフルエンザ感染であっても、早期にはインフルエンザのテストが、「陽性」に出ないこともあります。インフルエンザ脳症の症状に注意下さい。

No.12

年齢：9ヶ月（女）

症状

発熱39℃、突発性発疹でしょうか。心臓の部分がピクピク動いているのが心配。

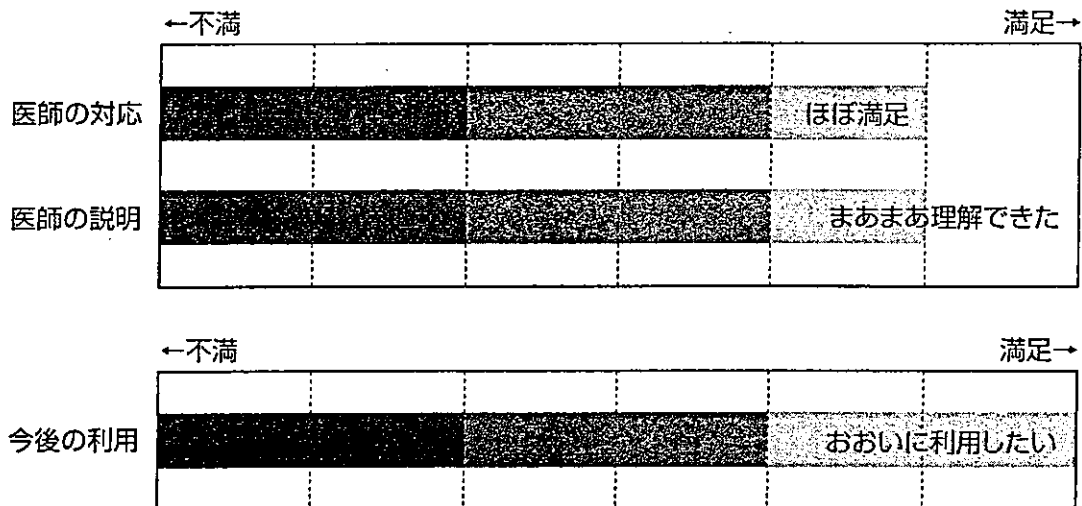
相談小児科医の助言

心配ないので、昼間かかりつけ医に行くように言った。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

突発性発疹症の診断には、経過観察が必要です。心臓の動きは、乳児では通常観察できるものです。ピクピクするのは、高熱にみられる頻脈です。全身状態が良好であれば心配ありませんので、翌日かかりつけ医に受診して下さい。

No.13 年齢：1才3ヶ月（男）

症状

発熱39.4℃、10時に座薬を入れ、12時に飲み薬を服用した。
熱はその後も持続するが、比較的元気である。

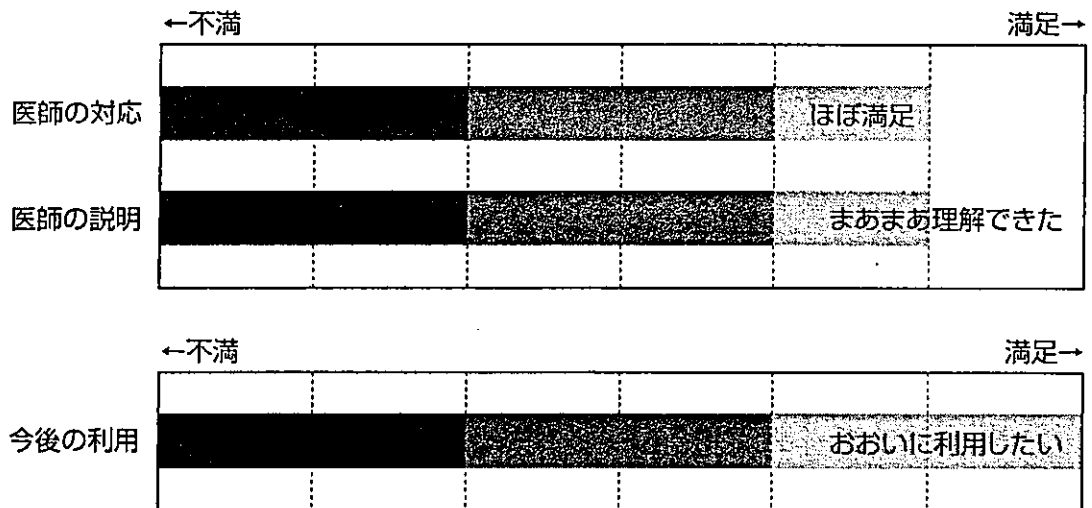
相談小児科医の助言

心配ないので、昼間かかりつけ医に行くように言った。明日の朝8時で、38.5℃以上あれば受診下さいと伝え、当番医を紹介した。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

他の症状は何ですか？水分・食事はとれていますか？不機嫌はないですか？座薬を入れて頭を冷やすこと。熱が下がったら飲食できるので、野菜スープ、白湯を与えて下さい。この事例については、適切なアドバイスです。

No.14

年齢：1才1ヶ月（女）

症状

発熱38.5℃、めやに。先日麻疹の予防接種を受けた。

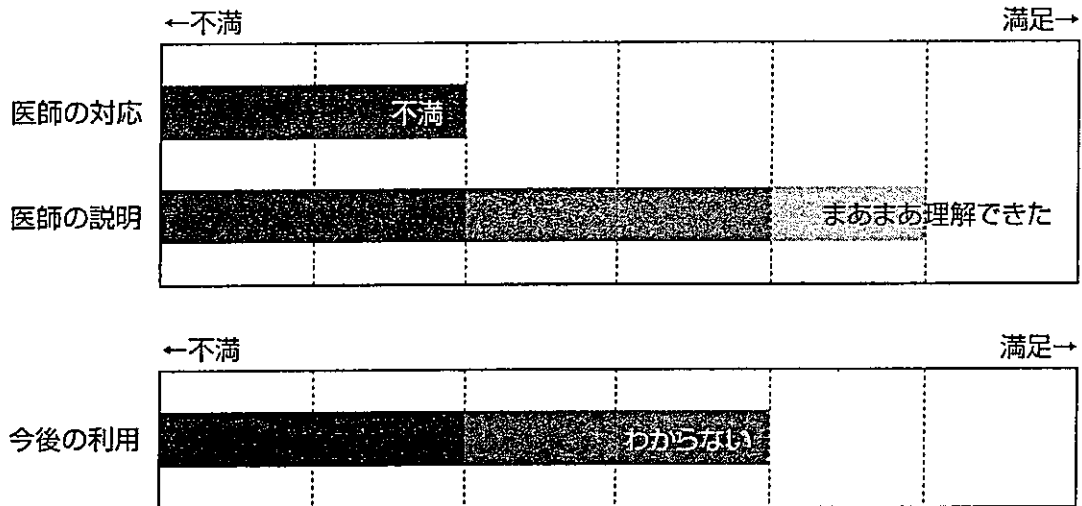
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

はしかの予防接種は、接種後7～10日頃に熱が出る場合があります。そのほか症状として、ときに発疹や、めやにがでます。

No.15 年齢：3才（女）

症状

15時頃より気分が悪いと言って寝た。18時頃起きて発熱38.5℃に気付いた。2日前にインフルエンザワクチン接種をした。

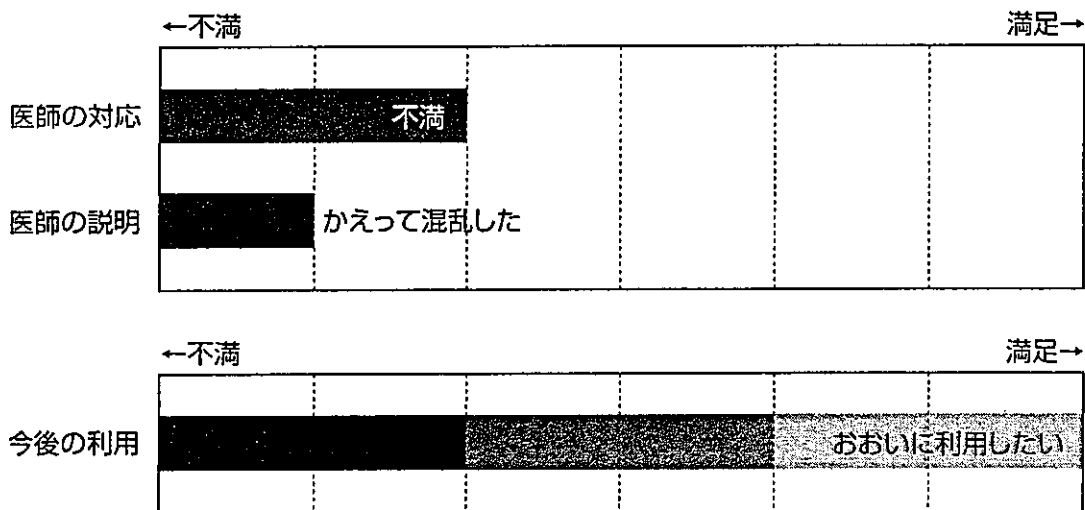
相談小児科医の助言

インフルエンザワクチンは関係ないと思われるが、嘔吐するようなら病院へ行くようすすめた。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

接種後2～3日は発熱頭痛など全身反応があることがあります。インフルエンザ予防接種の副反応について熟知しておくこと。保護者にとっては、ワクチン接種後の不安があるので、そのことを念頭において対応して下さい。

No.16 年齢：1才3ヶ月（男）

症状

発熱40℃、その後40.3℃になり2回目の電話相談を試みた。

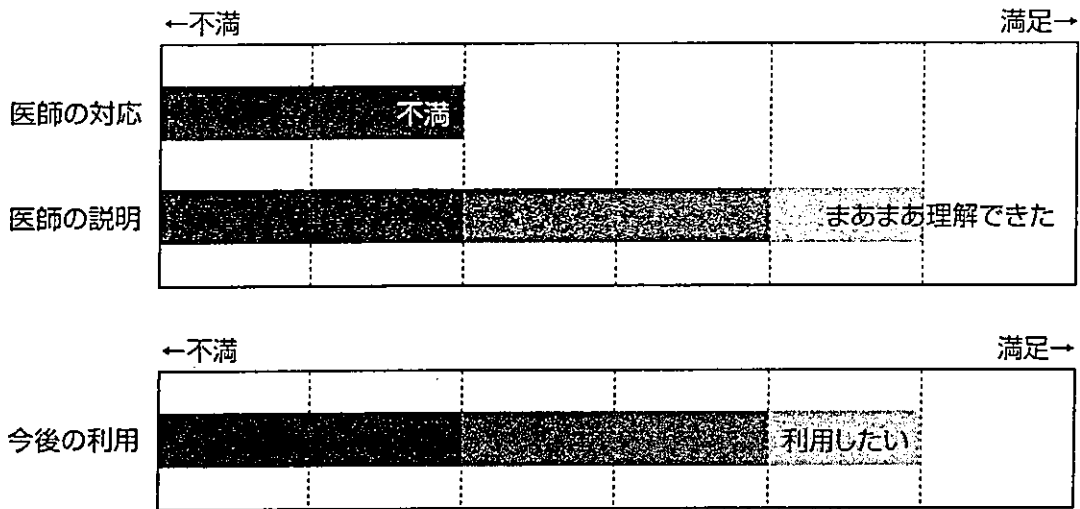
相談小児科医の助言

心配ないので、明日の昼間にかかりつけ医に行くように言った。座薬の使用と水分の補給、冷やすことをすぐにしましょう。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

他の症状の記載が少ないので、判断に苦しむが解熱剤の使用方法から説明をしてあげると共に、熱を下げることに気をとられず、水分摂取を心掛けることの大事さを指導してあげて下さい。発熱についてのメカニズムを説明してあげましょう。

No.17 年齢：6才5ヶ月（女）

症状

発熱40℃、インフルエンザ検査は陰性だった。検査が早すぎて陰性だったのでしょうか。全身を痛がる。うわごとを言う。

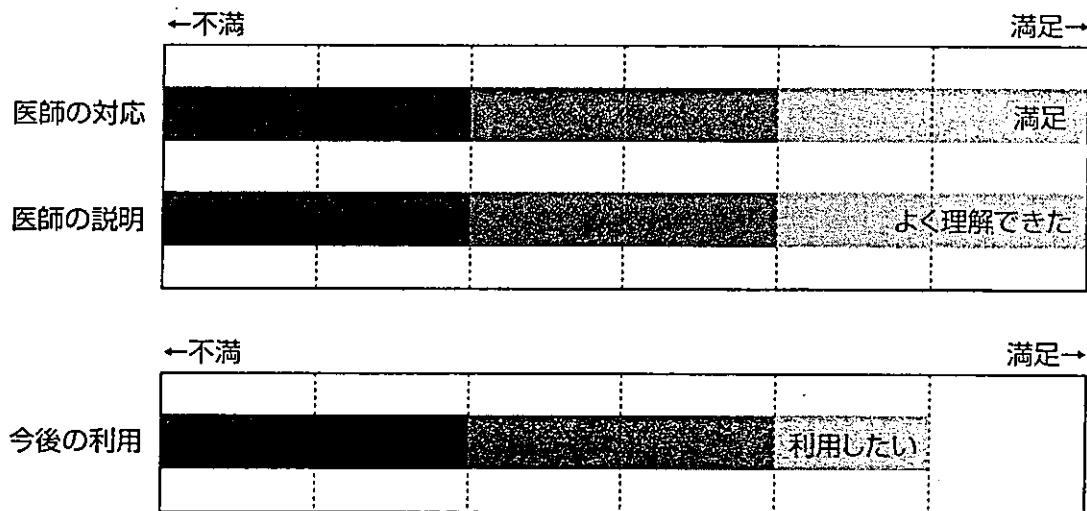
相談小児科医の助言

119番するように言った。電話での症状はインフルエンザそのものと思われます。

相談後の患児の行動

指示を受け、119番で救急車を呼んで受診した。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

インフルエンザ脳症の心配もあり、救急対応をすすめるのが適切です。

No.18

年齢：3才（女）

症状

発熱40℃、咳。発熱3日目。病院受診し治療中。

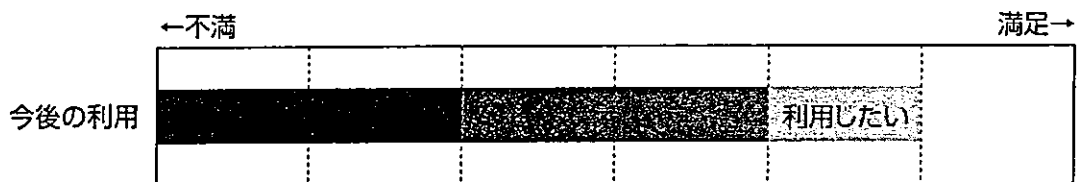
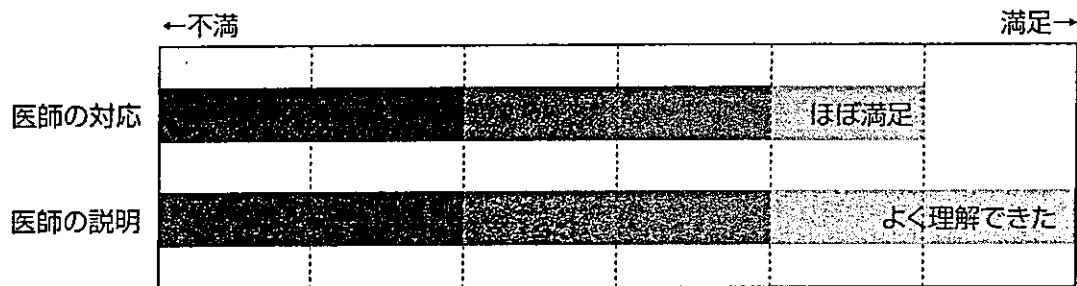
相談小児科医の助言

今夜は様子を見て、昼間かかりつけ医に行くように言った。今晚38℃を超えれば明日かかりつけ医を受診しましょう。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

水分補給をしながら経過観察をするように対応して下さい。明日の朝かかりつけ医へ受診をすすめるのがよいでしょう。

No.19

年齢：3才2ヶ月（女）

症状

発熱39℃、熱さましが2時間くらいしか効かない。

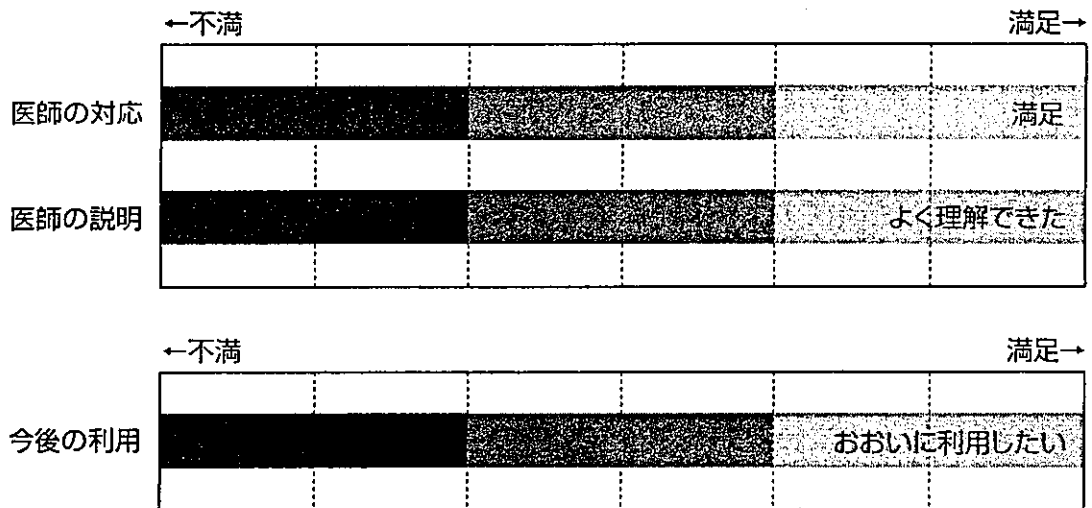
相談小児科医の助言

熱さましの使い方について説明をした。

相談後の患児の行動

相談しただけで納得した。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

熱さましだけでは病気は治りません。今晚38℃超えれば明日かかりつけ医を受診して下さい。熱さましの効果持続時間について教えてあげて下さい。この事例についての助言はよい対応策だったと思います。

No.20

年齢：4才（男）

症状

発熱38.4℃、30分前に38℃台になった。呼吸が荒く、食欲低下。口内炎ができています。肩で息をしている。副鼻腔炎で治療中。

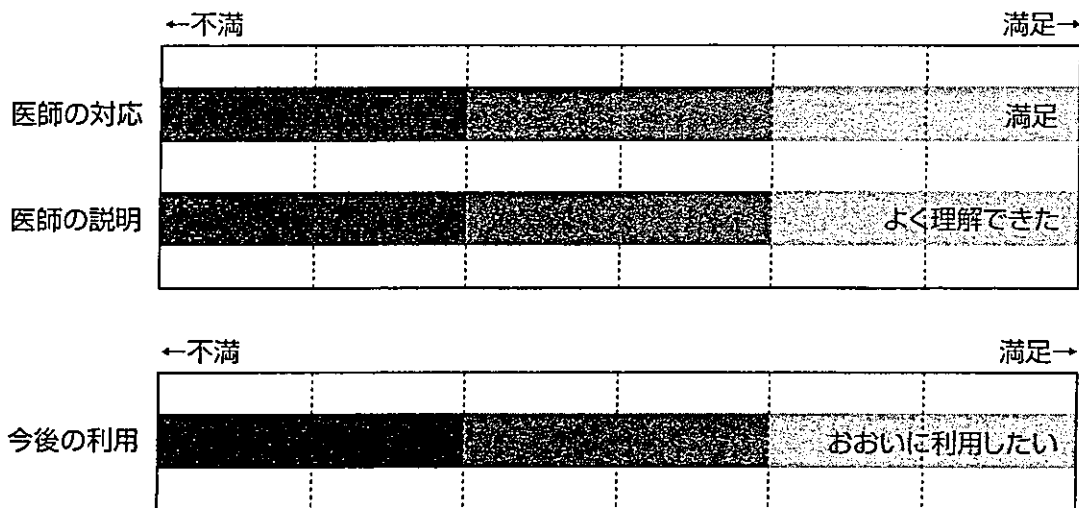
相談小児科医の助言

心配ないが、何かあれば病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

呼吸が荒いのは高熱のせい、食欲低下は口内炎のせいかもしれません。明日朝にかかりつけ医を受診して下さい。副鼻腔炎があるので、耳鼻科と小児科にも受診して下さい。

No.21

年齢：1才3ヶ月（男）

症状

発熱39℃、3日前に麻疹予防接種を受けた。

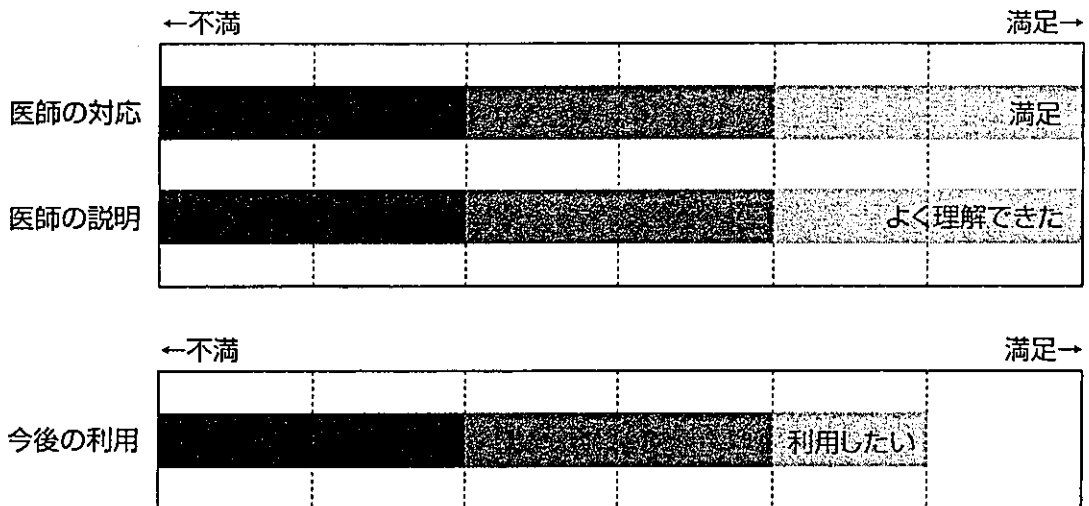
相談小児科医の助言

心配ないので、昼間かかりつけ医に行くように言った。はしかのワクチンの副反応とは違うようですが、明日も発熱が続けば当番医へ。

相談後の患児の行動

様子をみたが、受診する必要はなかった。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

予防接種を受けたときに、よく説明をきいておくように勧める。詳細は病状記載がないので判断がむずかしいが、親切に対応した事例です。相談者の満足度も高いです。

No.22 年齢：1才5ヶ月（男）

症状

発熱39℃、午前中鼻水とくしゃみがあった。解熱剤（アンヒバ）50mgがありますがどのように使ったらよいですか。

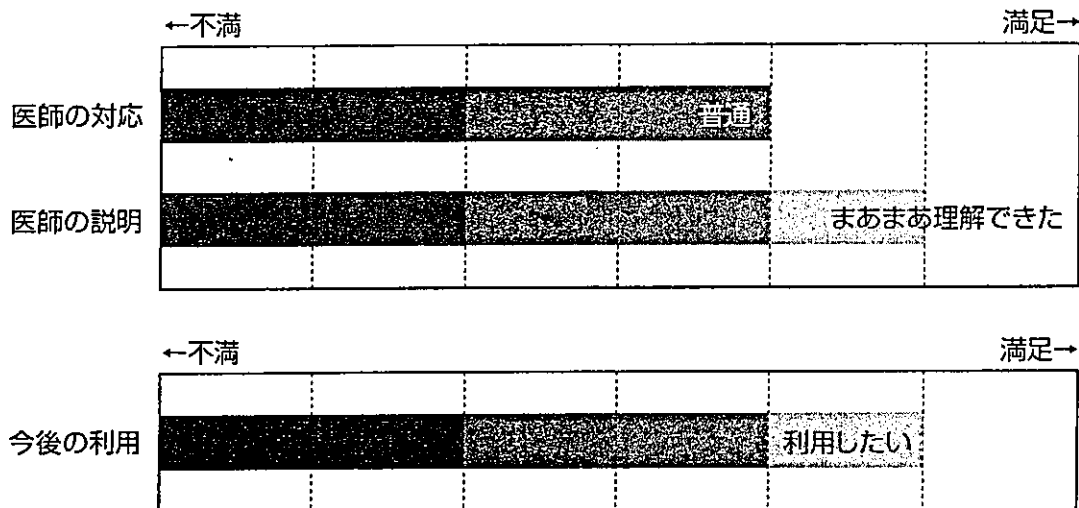
相談小児科医の助言

明日熱があれば救急病院を受診して下さい。解熱剤は一時しのぎです。しっかり診てもらって、原因の治療をして下さい。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

元気がよくて、水分を摂っていたら熱は必ずしも下げなくてよいです。アンヒバの使用は、6時間以上あけてください。

No.23

年齢：15才（男）

症状

発熱38.4℃・妹が2週間前におたふくかぜ（流行性耳下腺炎）と言われた。睾丸炎が心配。

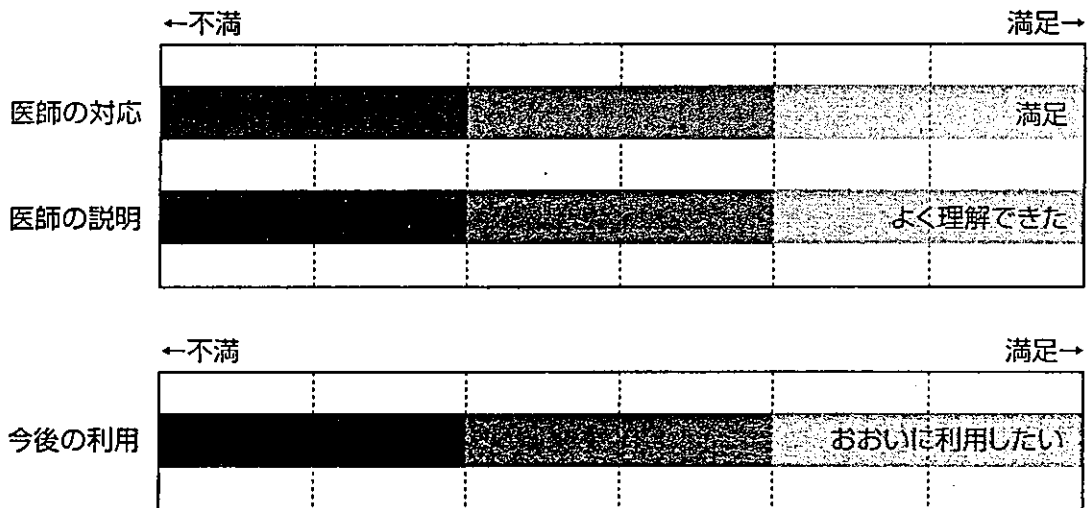
相談小児科医の助言

昼間かかりつけ医に行くように言った。おたふくかぜの可能性がありますので、登校は禁止。明日病院に行くようにして下さい。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

おたふくかぜの潜伏期は、2~3週間です。満足度も高く適切な対応と思います。まれですが、睾丸炎の可能性があるため、痛みがあれば、病院に行ってください。

No.24

年齢：10ヶ月（男）

症状

発熱37.5℃、耳体温計で39℃あったが、脇下で測ると37.5℃で元気は良い。

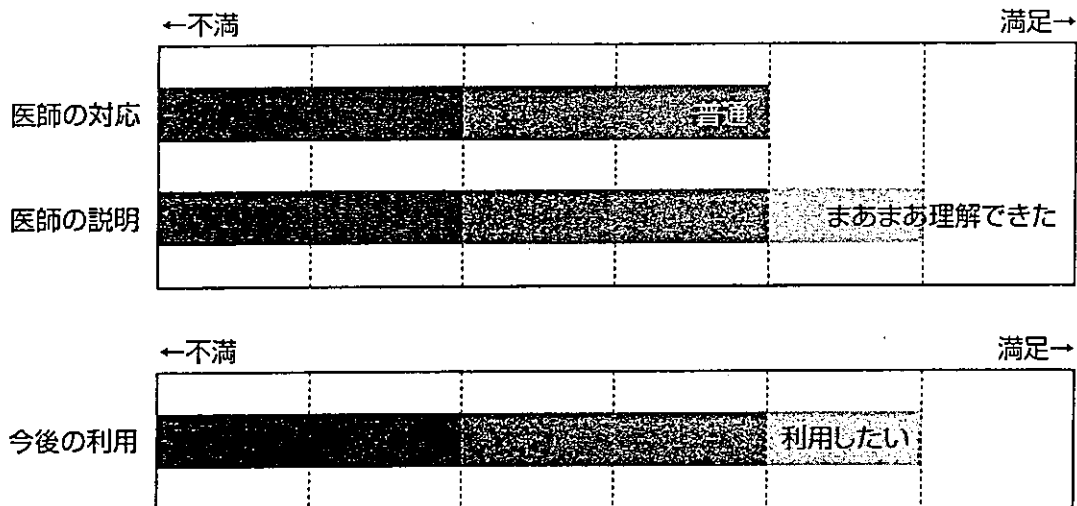
相談小児科医の助言

心配ないので、明日昼間かかりつけ医に行くように言った。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

熱の測り方での違いを教えてください。一般的には、わきの下にはさんで実測計ではかりましょう。また、3分以上の測定が必要だと教えてください。

No.25 年齢：1才（男）

症状

発熱39.3℃、1回目の電話相談後に座薬を入れ、30分後くらいにおじやを食べて嘔吐した。

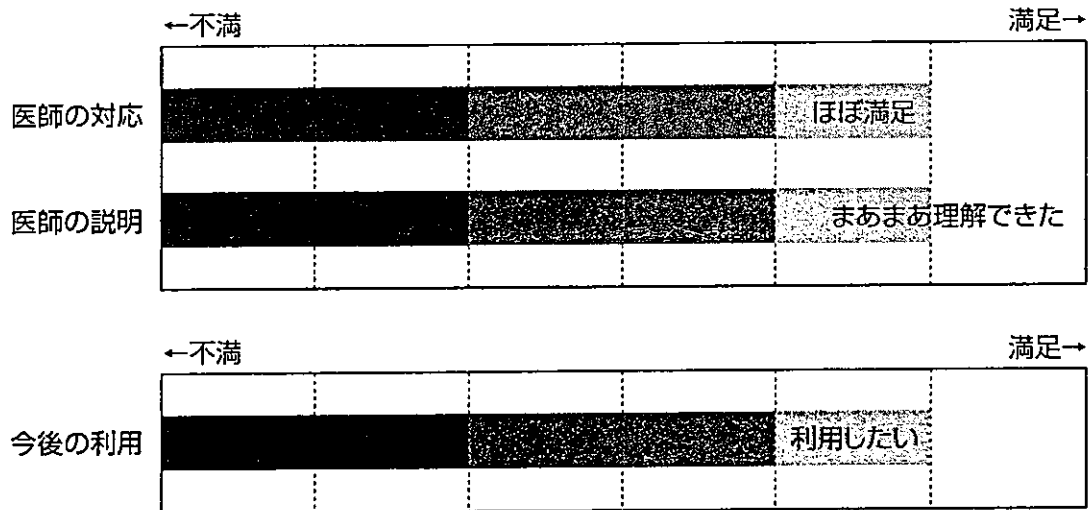
相談小児科医の助言

心配ないので、昼間かかりつけ医に行くように言った。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

熱のある時は、少しずつ消化のよいものや水分をとらせる等、食事の内容や量に注意するよう指導して下さい。

発熱・咳

No.1

年齢：1ヶ月（男）

症状

発熱38℃、咳。ミルクを吐く。少し機嫌が悪い。前日夜も夜間救急受診をした。

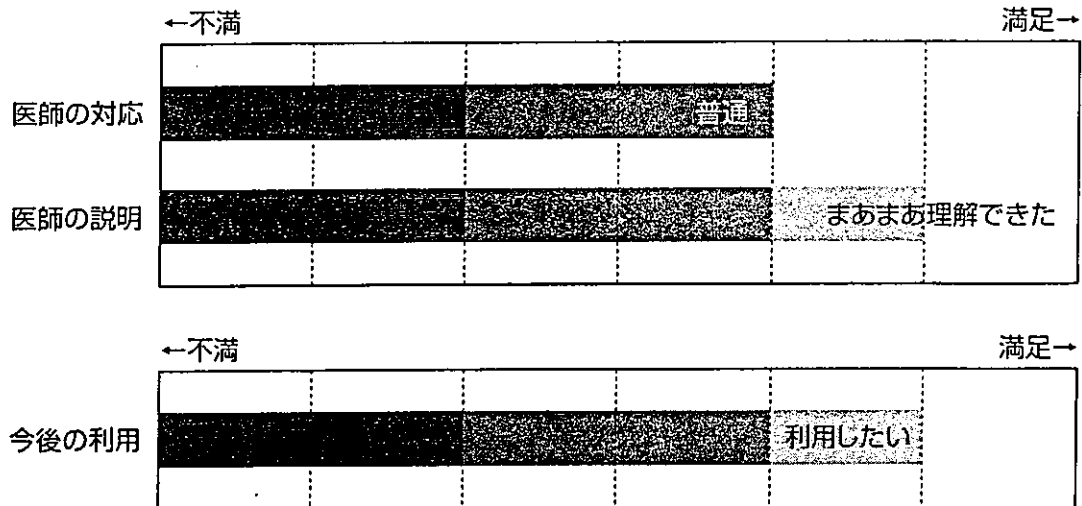
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。くちびるや皮膚が乾いていませんか？日中にかかりつけ医を受診して下さい。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

3ヶ月未満の乳幼児の発熱は注意を要します。救急受診をすすめる方が安全です。できれば昼間に受診しておいた方がよいと指導して下さい。

No.2 年齢：5才（女）

症状

発熱38.6℃、咳。3日前から咳がひどく、昨日から発熱。かすれ声があり、のどの痛みもある。耳鼻科の薬は持っている。

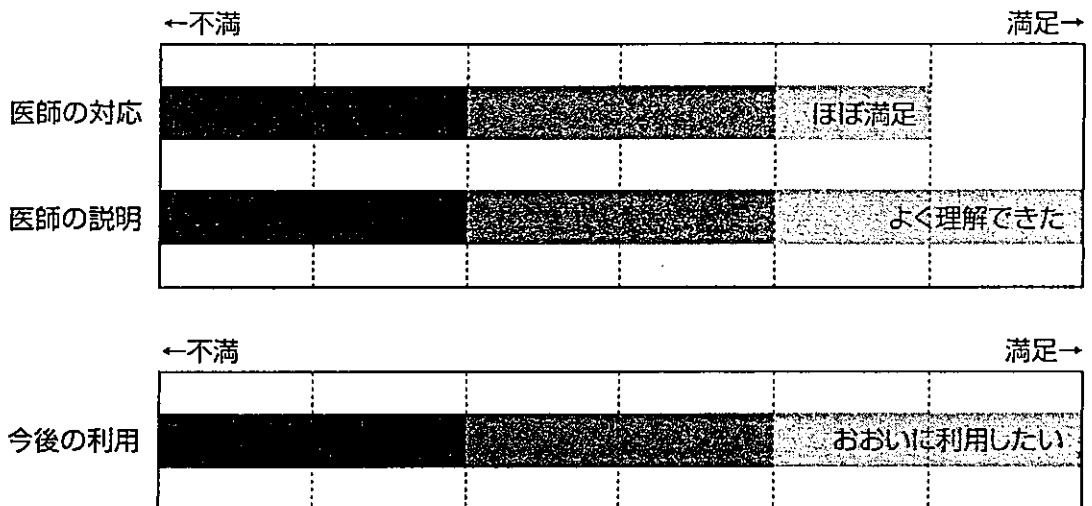
相談小児科医の助言

何かあれば病院に行くようすすめた。耳鼻科でもらった薬を飲んで、明日受診して下さい。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

咳が続く時は、小児科も受診して下さい。

No.3 年齢：3ヶ月（男）

症状

発熱38.5℃、咳。年末からかぜ気味で通院中。正月に総合病院を受診。「気管支炎」との診断。今晚から、母乳はやや少なめ。くすりとホクナリンテープ（咳止め）処方を受けた。

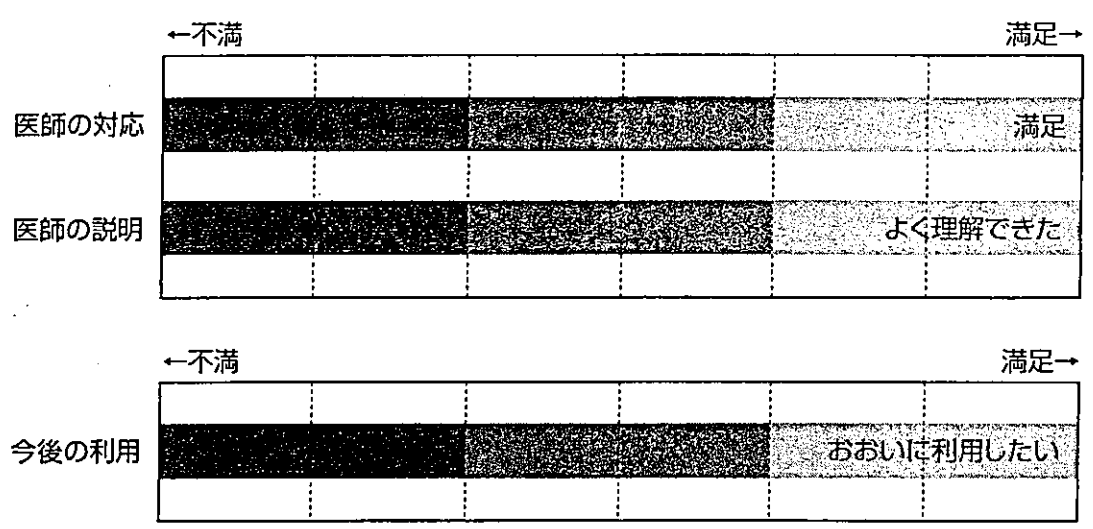
相談小児科医の助言

3ヶ月という年齢を考慮して病院受診をすすめる。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

生後3ヶ月迄のかぜは、重症になりやすいので注意しましょう。

No.4

年齢：12才（女）

症状

発熱38.9℃、咳。昨日インフルエンザと診断。タミフル内服5日分処方。

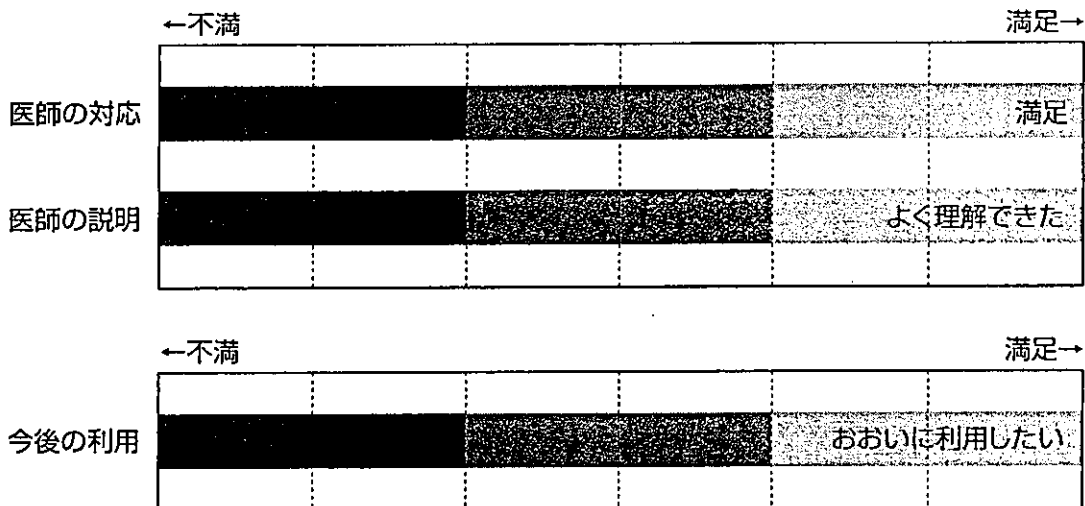
相談小児科医の助言

今晚は心配ないので、明日昼間かかりつけ医に行くように言った。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

タミフルの効果が出るのにもう少し時間が必要です。満足度も高く、よい対応と思います。